

**2024年3月期（第124期）
（2023年 4月 1日～2024年 3月 31日）**

芦森グループ決算説明資料

連結業績は、売上高 68,389百万円、
営業利益 3,753百万円、経常利益 4,202百万円、
親会社株主に帰属する当期純利益 3,217百万円となりました。

2024年 5月 10日

芦森工業株式会社

証券コード：3526

前期比で 増収増益

	2023年3月期	2024年3月期	前期比	
	実績 百万円	実績 百万円	百万円	%
売上高	65,624	68,389	2,765	4.2
営業利益	2,152	3,753	1,600	74.4
（営業利益率）	3.3%	5.5%	-	-
経常利益	2,796	4,202	1,405	50.3
特別損益	▲ 685	135	820	-
税金等調整前 当期純利益	2,110	4,337	2,226	105.5
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,017	3,217	2,199	216.2

- 対前期比で大幅な増収・増益となり、過去最高の業績となりました。

TOPICS

- 昨年11月30日付で、豊田合成株式会社との協業強化を目的とした資本業務提携契約を締結。当社は同社の持分法適用会社となりました。
- 昨年8月にスタンダード市場への選択申請を決議し、10月20日付で同市場に移行しました。事業規模の拡大と安定した収益体質を確立し、プライム市場への再上場を目指します。

		2023年3月期	2024年3月期	前期比	
		実績	実績	百万円	%
		百万円	百万円	百万円	%
自動車安全部品 事業	売上高	46,666	50,039	3,372	7.2
	営業利益	583	2,317	1,733	296.8
	(営業利益率)	1.3%	4.6%	-	-
機能製品事業	売上高	18,926	18,320	▲ 605	▲ 3.2
	営業利益	2,207	2,184	▲ 23	▲ 1.1
	(営業利益率)	11.7%	11.9%	-	-
不動産収入、 本社経費他	売上高	31	29	▲ 1	▲ 5.2
	営業利益	▲ 638	▲ 747	▲ 109	-
合 計	売上高	65,624	68,389	2,765	4.2
	営業利益	2,152	3,753	1,600	74.4
	(営業利益率)	3.3%	5.5%	-	-

自動車安全部品事業

円安効果と原材料費の市況変動分の一部の売価への転嫁、収益改善策の実行により、大幅な増収・増益となりました。

機能製品事業

・ パルテム関連

繰越工事が多かった前期に比べて当上半期は低調で、通期では前期を下回る結果となりました。期中の受注は堅調に推移しました。

・ 防災関連

石油コンビナート向け大口径ホースシステムの納入が寄与し、業績は回復しました。

・ 産業資材関連

輸送用車両の生産増加により、物流分野は回復基調にありますが、全体ではコロナ禍前の水準には戻っていません。

(単位：百万円)	2023年3月期 期末	2024年3月期 期末	前期末比
流動資産	32,552	34,652	2,100
固定資産	19,000	19,209	208
資産合計	51,552	53,861	2,309
有利子負債	14,299	12,937	▲ 1,361
その他負債	18,801	18,358	▲ 443
負債合計	33,100	31,295	▲ 1,804
資本金	8,388	8,388	-
資本剰余金	1,632	1,632	-
利益剰余金	7,985	10,901	2,915
自己株式	▲ 148	▲ 148	0
その他の包括利益累計額	556	1,743	1,187
新株予約権	20	24	4
非支配株主持分	17	24	6
純資産の部合計	18,452	22,566	4,114
負債及び純資産の部合計	51,552	53,861	2,309
自己資本比率	35.7%	41.8%	6.1%

- 原材料費の上昇等に伴い、棚卸資産（流動資産）が1,860百万円増加しました。
- 有利子負債の圧縮を進め、1,361百万円減少しました。2025年3月期末には12,000百万円以下の水準まで縮減を進めます。
- 中期経営計画(2023/3期～2025/3期)の目標である ROIC(投下資本利益率) 7% および自己資本比率 40% を1年前倒して達成。
- 配当金については、1株当たり100円へ増配します。配当性向は30%を下回りますが、有利子負債の削減による財務基盤の強化を優先させていただきます。

(単位：百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,267	3,173	▲ 3,093
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,463	▲ 725	738
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,700	▲ 1,901	798
現金及び現金同等物に係る換算差額	116	306	190
現金及び現金同等物の増減額	2,220	853	▲ 1,366
現金及び現金同等物の期末残高	4,402	5,255	853

(単位：百万円)	2020/3 期	2021/3 期	2022/3 期	2023/3 期	2024/3 期
設備投資額	2,817	1,545	4,762	1,517	1,310
減価償却費	2,209	2,057	1,842	1,885	1,746

- 「営業活動によるキャッシュ・フロー」・・・棚卸資産の増加等運転資金が増加したことにより、前期比で減少しました。
- 「投資活動によるキャッシュ・フロー」・・・設備投資案件を厳選したことにより、前期比で改善しました。
- 「財務活動によるキャッシュ・フロー」・・・前期に引き続き、有利子負債の圧縮を進めました。

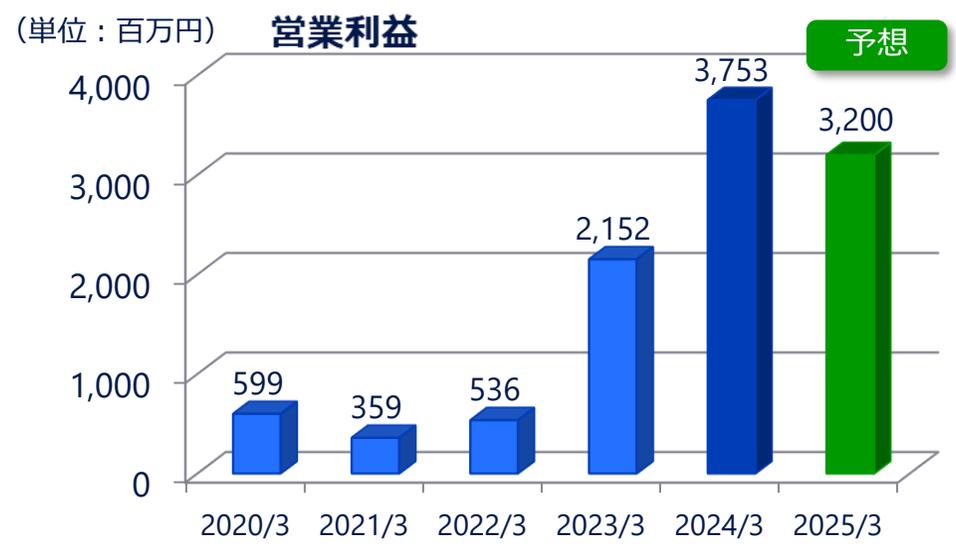
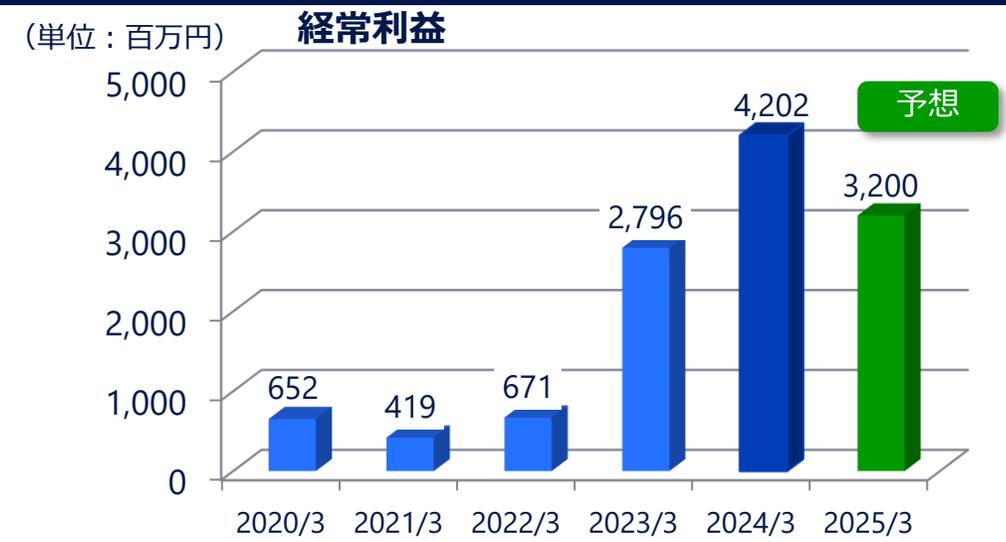
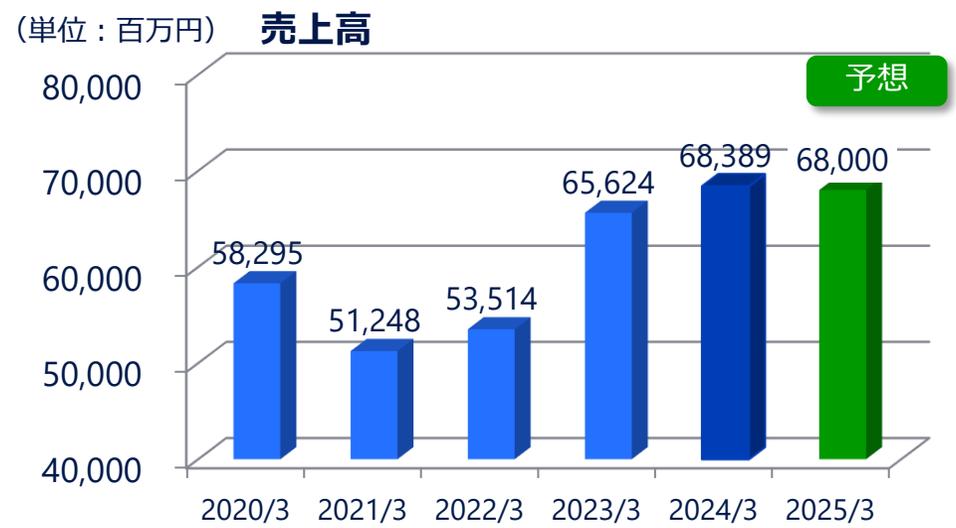
		2024年3月期	2025年3月期	前期比	
		実績	計画	百万円	%
		百万円	百万円	百万円	%
自動車安全部品事業	売上高	50,039	47,100	▲ 2,939	▲ 5.9
	営業利益	2,317	1,852	▲ 465	▲ 20.1
	(営業利益率)	4.6%	3.9%	-	-
機能製品事業	売上高	18,320	19,985	1,664	9.1
	営業利益	2,184	2,198	13	0.6
	(営業利益率)	11.9%	11.0%	-	-
不動産収入、本社経費他	売上高	29	915	885	-
	営業利益	▲ 747	▲ 850	▲ 102	-
合 計	売上高	68,389	68,000	▲ 389	▲ 0.6
	営業利益	3,753	3,200	▲ 553	▲ 14.8
	(営業利益率)	5.5%	4.7%	-	-
	経常利益	4,202	3,200	▲ 1,002	▲ 23.8
	特別損益	135	-	-	-
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,217	2,000	▲ 1,217	▲ 37.8

「新たな成長軌道への挑戦」
成長市場である自動車分野と管路更生分野に引き続き経営資源を集中してまいります。

「体質改善の実行」
財務体質の強化と意識改革による企業風土改革の実行により企業価値を高めることを目指します。

2025年3月期計画について

- 自動車安全部品事業においては、為替動向が不透明であること、労務費の上昇を想定し、減収減益の計画。
- 機能製品事業においては、需要が堅調で増収となるが、原材料費や人件費の上昇等による利益率低下を想定し、営業利益は横ばいの予想。
- 全体で減益となる計画であるが、前年度を上回る業績を目指します。



自動車安全部品事業本部 主要製品のご紹介

シートベルト



1967年にシートベルトメーカーとして初めてJIS規格の認証を受けて以来培ってきた技術が詰め込まれており、「モーター巻取り式リトラクター」をはじめ、「次世代シートベルト」への挑戦にも積極的に取り組んでいます。

手動シェード



ドアトリム内にビルトインされた巻取り式ドアシェードです。使用時以外はドアトリム内に巻き取るため視界を遮ることがなく、また上端まで閉めればプライバシーを守ることができます。

エアバッグ



1986年にエアバッグの開発に着手し、1989年に量産を開始。座席サイド部分に内蔵される「サイドエアバッグ」や「カーテンエアバッグ」等、正面衝突以外の衝撃を緩和するための多種多様なエアバッグを製造しています。

セパレーションネット



乗員スペースとラゲージルームを仕切るネットで、急制動時に乗員スペースへの荷物の進入、荷くずれを防止し、乗員を守ります。

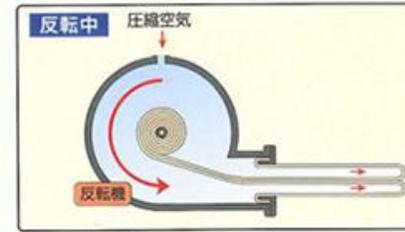
機能製品事業本部 主要製品のご紹介

パルテム・フローリング工法



住宅リビングの床をイメージできるフローリング工法は、円形のみならずあらゆる断面形に対応できる、主に下水道向け管路更生工法です。

ホースライニング工法



既設管の内面にシールホースを「反転」挿入し、新しくパイプを形成するパルテムの原点となる工法です。

消防用ホース 低圧力損失ホース



放水時の圧力損失を従来品と比較して最大約50%低減し、より遠く、高く、早く放水でき、低燃費で操作できるため環境への負担も軽減できるホースです。

緊急排水ホース「パルジェット」



水害や災害の現場で排水ポンプ車がすぐに使用できるように軽量化した緊急排水対策用ホースです。

リフトアップ式搬送システム「エアーロールシステム」



円滑なトラック貨物の移動により荷役作業を省力化させるシステムで、女性や高齢者でも容易に扱え、作業負担を軽減します。

軟弱地盤表層処理工法用シート「パレスシート」



格子状補強枠（専用モルタル充填円筒織物）と補強枠下の土木シートにより荷重を分散させ、軟弱地盤での沈下を防ぐ表層処理工法です。撤去も容易で原状復帰が可能です。

芦森工業株式会社 社是

1. 信用を重んじ、堅実を旨とする。
2. 人の和と開かれた心で活力ある企業を築く。
3. 創意を生かし、社業を通じて社会に貢献する。

Mission・Vision・Values

【ミッション】

“私たちの使命は、命と暮らしを守る製品を提供することです”

【ビジョン】

“私たちは、すべての人々に信頼される企業グループであり続けます”

【バリュー】

“私たちは、誠実に、ルールを守り、品質最優先のものづくりに取り組みます”

本資料中の業績予想および見込みについての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

芦森工業株式会社 総務部 総務広報課

TEL : 06-6105-1680

MAIL : ir_madoguchi@ashimori.co.jp

HP : <https://www.ashimori.co.jp>

ちから
つむぐ **技術**、つなげる **未来**

